



Sabae Rotary Club

R | 第2650地区 2020-2021年度 鯖江ロータリークラブ

2020-21年度 国際ロータリーテーマ

2019-20年度 第2650地区スローガン



ロータリーは
機会の扉を開く

ロータリーの原点に戻る

誠意をもって語り合い、勇気をもって共に未来へ



鯖江ロータリークラブ会長方針

こころ一つに
手と手繋いで

会長 野中 敏昭

第2959回
1/29(金)

1月第5例会

点鐘:12:45

テーマ「再度SDGsについて」

さばえSDGs推進センター所長

卓話 関本 光浩 様

第2960回
2/5(金)

2月第1例会

点鐘:12:45

テーマ「海外プロモーション越境ECサービスの提案」

鯖江商工会議所事務局長

卓話 藤井 智正 様

第2961回
2/12(金)

2月第2例会

点鐘:12:45

テーマ「RENEWについて・・・」

実行委員長

谷口 康彦 様

卓話

事務局長

森 一貴 様

1/29(金)

第2959回
例会報告

4つのテスト

出席率66.7%

鯖江商工会議所 4階大ホール

- ① 真実かどうか
- ② みんなに公平か
- ③ 好意と友情を深めるか
- ④ みんなのためになるかどうか

開 会 点 鐘
四 つ の テ ス ト
ロ タ リ ー ソ ン グ
会 長 の 時 間
幹 事 報 告 等
プ ロ グ ラ ム
閉 会 点 鐘

ロータリーソング

それでこそロータリー

口ずさむ程度にお歌いください。

本日のリモート出席者



馬場 一彦 会員



野呂 和夫 会員

会長の時間

野中 敏昭 会長

皆様こんにちは。
週末は再び寒波到来しまして、重い雲が空を覆っています。
正岡子規が、(冬雲

は鉛の如し)と表現したように、まさに今が冬本番です。

今朝、白山市の現場に行った社員から連絡があり、地面に立っていても体が飛ばされそうな強風で、地上20m上空の梁の上の溶接作業でした。本日は危険とみなし、作業中止しました。板金業の屋根の仕事は一年中自然との闘いで、特に風には要注意です。皆様も、くれぐれも強風には、ご注意ください。

さて、毎日新型コロナウイルスの暗いニュ

ースばかりで気が滅入りますね。しかし、ますます新型コロナウイルスは世界中で猛威をふるい、感染者をはじめ医療関係者やたくさんの方々をも恐怖にさらされています。新型コロナウイルス流行を強く生き抜くためには、ロータリアンとしてどうすべきでしょうか。人間には、回復力が自然に備わっています。その回復力(Resilience)とは、逆境においても、その状況に適応していくプロセスのことです。人間は衝撃的な出来事やストレスの強い場面に直面すると、脳が多数の神経経路を活性化させ、身体を守る仕組みになっています。このような生物学的プロセスのおかげで、私たちは健康を保っています。そして人はこのような出来事を乗り越えることで成長して変わることができ、また強くなれるのです。

現在、多くの方が新型コロナウイルスのパンデミックという現実と直面しながら日々を送っています。幸いなことに、回復力を大きくする方法がいくつかあります。今回の新型コロナウイルスの流行は、皆が一丸となってロータリアンやクラブの回復力を養い育むことで、ロータリーをさらに強くするチャンスでもあります。そのためのヒントをいくつかご紹介いたします。

つながる:回復力を養う上で大切な要素の一つは、単純に人と「つながる」ことです。まずは仲間のロータリアンと連絡を取ってみましょう。電話で話したり、メッセージを送るのもよいですし、会員がオンライン例会に参加できるよう準備するのもよいでしょう。また各クラブも、ロータリーというグローバルなネットワークに各会員が溶け込めるように、他のクラブとつながることを検討していきましょう。

大局を見る:人は逆境が続くと希望を失ってしまいます。だからこそ、現実を見つめ、ポジティブな思考を持ち続けられるよう仲間を励ましましょう。ロータリークラブは現在、例会の新しい形式に適応する必要に迫られ、また会員増強や寄付推進についても懸念が募るなど、困難に直面しています。しかし、この困難は決してロータリーの将来に影を落とすものではありません。私たちの将来は、この難局をどう乗り切るにかかっているのです。

健康を保つ:私たちは、「隔離」や「ロックダウン」、「Zoom疲れ」などという言葉が一般的に使われるように

なった時代を生きています。そんな今だからこそ、仲間の会員と一緒に健康増進、健康第一を心がけましょう。休憩が必要な人や、例会に出席できない人、Eメールの返信に数日かかってしまう人にも、優しく対応してあげましょう。今は点数争いや貢献度を競うような時ではありません。優しさをもって話し、耳を傾けましょう。

目的を持つ:人を元気づけると、自分自身の心も満たされます。そうすることで自尊心が磨かれ、目的意識や人の気持ちを汲み取る心も芽生えてきます。まずは、実行可能かつ達成可能な奉仕活動を仲間と一緒に計画してみましょう。

感謝する:人は感謝の気持ちを心で受け止め、意識的に考えることで力を得ています。感謝されることで、セロトニンやドーパミンといった神経伝達物質の放出が促進され、喜びや幸せを感じやすくなります。ですから、ほんの少しだけ時間を取って仲間に感謝し、またクラブの全会員から地域社会やパートナーに感謝の気持ちを示す機会も作りましょう。

皆がお互いを気遣うことができれば、回復力を養い育むための道を切り拓くことができます。このような努力を組織レベルまで拡大することで、ロータリーの新たな潜在能力が解き放たれ、クラブの強化、会員体験の向上につながります。

世界は今、回復力、適応力、強さを兼ね備えたロータリアンとロータリークラブを必要としています。お互いを思いやる気持ちは大切ですが、自分自身を気遣うことも忘れないでください。皆さん自身が、大きな回復力を備えた最高の自分になるべき大切な存在なのです。ご清聴ありがとうございました。

幹事報告

瀧花 秀晃 幹事

- ・2月は家庭会合開催月間ですが、コロナ禍の為状況を見て判断いたしたいと思います。
- ・後期会費持参の方は、会計で



ではなく事務局へ納入ください。

卓話 関本 光浩 様

テーマ 「再度SDGsについて」



卓話者紹介 梅田 吉臣 プログラム委員長

こんにちは、本日の卓話は前市長が国連で話された17の項目SDGsです。暮らしを良くするには、皆さんそれぞれにやれることをやって欲しいとおっしゃって

まして、最近沢山の方が胸にバッジを付けておられるのを見かけると思います。今日は、「さばえSDGs推進センター」関本光浩所長さんにお話を頂きます。めがね会館の9階にいらっやいますので、詳しく知りたい方はめがね会館まで行ってください。では、関本様どうぞお願いします。



卓話者 さばえSDGs推進センター 所長 関本 光浩 様

テーマ 「再度SDGsについて」

本日は、このような機会を頂きありがとうございます。再度SDGsと書いてありますが、たしか昨年仲倉副所長がお話をさせて頂いたと伺っております。

2019年のSDGs認知度は16%、それが2020年の認知度は29%となっております。梅田委員長さんから、まだとつきにくいので分かりやすく話して欲しいとご要望をいただきましたので、こちらにお邪魔することになりました。

SDGsとは:地球に住むすべての人が今よりもっと暮らしやすい社会を実現するため、2030年までに経済・社会・環境など様々な課題に取り組むために定められた目標です。**Sustainable Development Goals:SDGs 17の目標と169のターゲットで構成**されています。直訳しますと、持続可能な開発目標「**誰一人取り残さない**」を理念としています。

鯖江市が他自治体より早く取組んだのは、鯖江市民全ての方が50年後も100年後も鯖江市に住んでよかったですと思えるようなまちづくりに取り組んでいた事が、「**誰一人取り残さない**」という事に合致したからです。

2015年に国連総会でSDGsが採択されました。翌年には国が**持続可能な開発目標(SDGs)推進本部を設置**しております。2017年に鯖江市では、**持続可能な地域モデル「めがねのまちさばえ」研究チーム**を設置しました。研究チームでは、本市の地域特性をいかしたSDGsの推進は何かを検討し、17の目標のうち、「5ジェンダー平等を実現しよう」の女性活躍を軸に進めていこうと決めました。理由のひとつとして鯖江市は、**昔から地場産業が盛んで、女性も経営を担う一員としての役割を持ち、自らの裁量で仕事を回させることにより、仕事と生活を両立し、育児・介護問題を解決する環境を作ってきたことから、ワークライフ・バランスを生活文化の中で編み出し、実践してきた先進地**であること。もうひとつは市民主役のまちであることです。

「市民主役のまちづくり」は、1995年の世界体操選手権をこんな小さな地方都市で初めて開催し、見事に大成功を収めました。これぞ正に市民力です。市民主役はここから始まりました。しかし、若い人、特に女性の参加が少ないのが課題でした。そこで鯖江市役所JK課プロジェクトを行ったわけですが、当時は大変非難を浴びました。しかし、行った結果、若い女性が参加するようになると、引っぱり張られるように若い男性も参加するようになりました。さらに、負けてはいられないとOC課(おばちゃん課)も誕生するわけです。この取組みがきっかけとなりまして、国からも賞を貰うような評価を受けました。この話を前牧野市長が国連へ行って発表しましたら非常に評価され、SDGs推進会議のチャウドリー議長から「**若い女性から始めたことに意味があり、今の少女は明日の女性である。男女平等、女性の社会参加の考えを若いうちから根付かせることは大切である。ぜひ、鯖江の取組みを世界に発信して欲しい。**」とメッセージを頂きました。

SDGsコンセプトメカネ 「グローバル」



SDGs17の目標を左右各8目標に分け、それらを目標5「ジェンダー平等実現」のブリッジでつなぐ。



17の目標をご説明しますと、目標1~6は、人をテーマにしたものです。

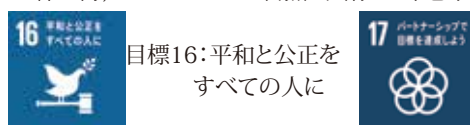
目標1: 貧困をなくそう 目標2: 飢餓をゼロに
目標3: すべての人に健康と福祉を 目標4: 質の高い教育をみんなに
目標5: ジェンダー平等を実現しよう 目標6: 安全な水とトイレをみんなに
世界中のだれもが、飢えや貧困に苦しむことなく、平等で健康な生活を送れるように、また、互いに尊重しあうようにしましょう。



目標7: エネルギーをみんなにそしてクリーンに
目標8: 働きがいも経済成長も
目標9: 産業と技術革新の基盤をつくろう
目標10: 人や国の不平等をなくそう
目標11: 住み続けられるまちづくりを
世界中のどこにいても、経済的に豊かで、安心で、幸せに暮らしていける社会にしましょう。



目標12: つくる責任つかう責任 目標13: 気候変動に具体的な対策を
目標14: 海の豊かさを守ろう 目標15: 陸の豊かさを守ろう
森や海、生きものなどの自然と共存して、地球の環境を守りましょう。



目標16: 平和と公正をすべての人に 目標17: パートナリーシップで目標を達成しよう

みんなで始めよう エシカル消費

エシカル消費とは、人や社会、環境、地域に配慮した物やサービスを選んで消費することです。人も自然も傷つけず、みんなが笑顔になる買い物をしたい、そんな思いからエシカル消費が生まれました。エシカル消費はこんなことから始められます。1. 必要なものを必要な分だけ買う2. 安さだけではなく、長く使えるかを考える3. できるだけ地元商品を買う4. 買い物をするときは、その生産地、生産国をチェックする5. エシカルな認証やマークの付いた商品やサービスを手に取る6. 資源を大切に使う7. リユース、リサイクルできる製品を選ぶ1つでもよいから実行してみましょう。

鯖江市SDGs推進事業セミナー 日時:2月25日(木)19時~20時半
突然の取引停止を防ぐ! 場所:さばえSDGs推進センター
(サーキュラーエコノミー編) 講師:慶應義塾大学大学院 大江貴志氏

ここにBOX報告

- 野中 敏昭 会員 関本さまの卓話を楽しみに
- 瀧ヶ花 秀晃 会員 //
- 深見 泰和 会員 //
- 梅田 吉臣 会員 //
- 窪田 健一 会員 //
- 孝久 治宏 会員 勝手ながら早退します



吉田 俊博 プログラム委員長